

栄養学総合講義（1年前期 選択・講義3単位）[教職（家庭）必修]

栄養学専攻全専任教員

編成担当者：栄養学専攻主任

石田 裕美

【授業の到達目標および概要】

「栄養学」研究を始めるに当たり、「栄養学」に関する多様な課題を知り、幅広い視野を持ち、その中で自分の関心や研究課題の位置づけをできるようになることを目的とする。

大学院生は「栄養学」に関する多様な課題の中から、取り組むべきテーマを見つけて、それを探求し、得られた成果を公表するとともに、その内容について専門的評価を受けるわけだが、それには先ず「栄養学」の各分野における専門知識や新たな問題点を把握していなければならない。栄養学総合講義は栄養学専攻の全専任教員が100分授業を1回ずつ担当し、自らの研究・実践を素材に、「栄養学」の課題や方法論の学際性・多様性、将来への展望等について論じるもので、学生はこれを受講することによって「栄養学」の全容が把握でき、各自が取り組もうとする課題の専門分野における位置づけをより明確にすることができる。

【授業計画】

- | | |
|------------------|---------------------|
| ① 田中 茂穂：発育学 | ⑫ 栗原由紀子：生理学 |
| ② 新開 省二：高齢期栄養学 | ⑬ 守屋亜記子：食文化人類学 |
| ③ 川端 輝江：基礎栄養学 | ⑭ 衛藤 久美：食コミュニケーション論 |
| ④ 上西 一弘：栄養生理学 | ⑮ 井元 りえ：環境教育学 |
| ⑤ 津下 一代：臨床栄養学 | ⑯ 臼井 照幸：食品分析学 |
| ⑥ 石田 裕美：栄養管理学 | ⑰ 西塔 正孝：食品素材開発学 |
| ⑦ 林 芙美：栄養教育学 | ⑱ 中嶋 康博：フードシステム学 |
| ⑧ 武見ゆかり：地域栄養学 | ⑲ 柴田 圭子：調理科学 |
| ⑨ 中西 明美：子ども食事管理論 | ⑳ 小西 史子：調理・食生活学 |
| ⑩ 福島亜紀子：分子栄養学 | ㉑ 香川 靖雄：加齢生化学 |
| ⑪ 加藤 久典：生化学 | ㉒ まとめ |

【授業外学習】

各担当教員の授業で学んだことを十分に復習し、その内容について簡潔にまとめておくこと。授業終了後にレポートとして提出する。

【成績評価の方法・基準】

全回終了後の総括レポートにより評価する。

【備考】

特になし